

東京教区時報

第1115号
2009年3月15日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇3月の代祷・信施奉献先
▽東京教区神学生のため(大齋節第1主日)▽聖公会生野センターのため▽教区青少年活動のため▽いのちの電話の働きのため▽キツドスクール(幼稚園)のため
《奉献先から》

いのちの電話

1971年に東京に「いのちの電話」が創設されて以来、様々な困難・悩み・危機のために孤立したり、生きるのに困難を覚えるまでに至った人たちの訴えに耳を傾けて、「かけがえない貴重ないのちを共に生きましょう」と呼びかけ続けている。東京の活動だけで研修・訓練を受けた3百人を超えるボランティアの相談員が参加し、1日24時間態勢、365日休みなく電話の前で待機がつづく。

活動に必要な資金の大部分は寄付金で賄われている。東京では東京いのちの電話、多摩いのちの電話、英語いのちの電話が…。全国では51ヶ所、年間70万余件の相談を受けていて、その役割はますます重要さを増している。

◆教役者レクイエム

3月18日(水) 10時半

主教座聖堂

説教 植田仁太郎主教
▽司祭内田茂二▽伝道師岡本房子▽司祭洪恒太郎▽司祭岸本隆一▽司祭伊藤堅逸▽司祭林五郎▽司祭宿谷栄▽主教後藤真▽主教八代崇▽主教斎藤茂樹▽伝道師遠藤英子

◆としえの平安

1月29日 甲斐 春子(76)

聖テモテ

今週・来週の予定

3月15日～28日

- 15(日) 大齋節第3主日
外濠G教会協議会(聖バルナバ)
山手G教会協議会(聖愛)
多摩G教会協議会(聖パトリック)
環状G教会協議会(清瀬)
- 16(月) 財政委員会
- 17(火) 礼拝音楽委員会
- 18(水) 教役者レクイエム
多摩G牧師協議会(～19・青梅)
- 19(木) 信仰と生活委員会
主教座聖堂活動委員会 教区会
- 20(金・休) 第108(定期)教会
- 21(土) 城南G大齋黙想会(神学院)
- 22(日) 大齋節第4主日
城南G教会協議会(聖オルバン)
- 23(月) 正義と平和協・運営委
- 25(水) 教役者会
- 26(木) 山手G牧師協議会(聖愛)
人権委員会(聖バルナバ)

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

寄稿依頼をいただいた日、気がかりだった入院中のフィリピン人を訪ねました。ひと月前にお訪ねした時には、眠いと言いながら返事をし、手を握り返してくれたのですが、動いていたほうの手も動かさず、大きく開いた目は私たちの姿を認めても反応がありません。フィリピンに帰る希望が見えてきた矢先のことです。その方の変化と、「恵みに生かさ

《恵みに生かされて》

カパティランの活動の中で

岸野真理子

れて」という依頼された原稿のタイトルとの落差、なすすべのない申し訳なさに重い心を引きずって帰途につきました。

日本にいるフィリピン人から要請があった時にお手伝いすること、お話を聴くことが、私たちカパティラ

ンスタッフの仕事です。ご本人や私たちの希望どおりに事が進まず落胆することもしばしばです。その繰り返しの中で私たちにできることは、力を尽くすことと、その人の中にその出来事の中に神様のメッセージを聴くことだけなのだとかかってきました。

カパティランに関わ

て、いちばん変わったことは出会いの広がりです。日本にいながら知ることのなかった出来事や問題や人との出会いです。それは私の視野を広げ、自分の偏りを教え続けてくれています。出会った人と共に生きていくことを思い、生かされていることを感じていきます。

カパティランの働きのために祈りください。
(カパティラン・カウンセリングスタッフ)

春季教区会が20日に

各種活動報告を中心に審議

教区主教召集による第108(定期)教区会が今週20日(金・休)9時～17時、聖アンデレ主教座聖堂・聖アンデレホールで開かれる。定期は年に2度、今回は春の教区会に当たり昨年度の活動報告を中心に議事がすすむ。書記は李民洙司祭・中村淳執事。出席予定の教役者代議員は聖職39人、聖職候補生・伝道師7人、信徒代議員は34教人・礼拝堂より71人(内女性23人)。そのほか諸委員長、主事職、監事ら番外議員が出席する。審議に先立ち、植田教区主教による開会演説(施政演説)がある。

教区会資料「報告及び議案」

はすでに代議員関係者に届けられている。議案として08年度教区会計決算承認、基本財産一部除去・組入れ承認(以上2件の提案者)常置委員会、そのほか前

教区会設置承認された「ハラストメント防止機構検討準備委員会」より同防止委員会設置案(施行規則変更)と、同防止宣言採択案の2件が予定されている。また07年春季教区会で設置決議され、今月末で任期を終える「月島聖公会将来計画検討特別委員会」からも、活動報告と提案があり、審議が予測される。

神学院から新たな巣立ち

3月7日、聖公会神学院卒業礼拝を終えた塚田重太郎聖職候補生(特別聴講生・2年次修了)

が、4月から始まる新任地(東京)での勤務に備えている。「同候補生を含めた4月人事」近日中に公示される予定」

◇ 信仰と生活委員会報告

(2月26日)

*青年活動支援部会報告 中高生への取組みに関して検討中。

*春季教区会へ提出する08年度信仰と生活委員会活動報告案を協議・確認。

*大斎節プログラム一覧(会場別・プログラム別)一覽を作成、各教会・礼拝堂宛5部ずつ発送し長期利用を要請等の報告。

*「国連女性の地位に関する委員会」参加者1名分の旅費支援要請を受け4万円支援を協議。

*山手G大斎静想会へ協力支援

金申入れを受け2万円援助。

*今後の研修会講師の選考。

*各教会の活動基盤作りに積極的なソウル教区から学ぼうと、家庭集会マニュアルの一部翻訳を計画。

*各教会グループ、正義と平和協議会、日曜学校連絡会(3・24子どもニュース発行)、一粒の麦の会(7教派によるリーストコインは400万円近くが集まり女性と子どもの働きに奉獻)等の諸活動報告。

*宣教主事報告(信徒奉事者研修会構想など)。

*その他。

▽エルサレム協働委員会(東京教区)でゲストを迎える 同協働委員会(長・神崎雄二司

祭)では今春、イスラエル人とパレスチナ人の2師を迎えて、教区で研修と祈りの集いができるよう企画している。1人は米国から移住したユダヤ人文化人類学教授ジェフ・ハーバー博士、1人はエ教区ナイーム・アテイク司祭で、両師とも非人道的行為に反対し両国の平和のため尽力している。4月20日にソウル経由で東京着、30日帰国まで東京・関西の諸所で集会に参加される。東京では26日(日)午後集会を予定。照会などは教区事務所・宣教主事宛に。

▽五本木九条の会(憲法を学

ぶ)講演会「子ども・女性を守る日本国憲法」 講師・寺島芳江(男女平等教育全国ネット世話人)。3月25日(水)18時半、

聖パウロ教会。照会 090(8044)8524・主催者事務局。

▽リユートと影絵のパフォー

マンス 台東区芸術文化財団主催・支援対象事業コンサート「リユート奏者の人生をたどるジョン・ダウランド物語」が浅草聖ヨハネ教会で開かれる。28日(土)&29日(日)各18時半開演。チケット3千円・学生2千円・小学生千円(全席自由)。

照会・申込先 〓ビーフラット・ミュージック・プロデュース、03(6908)8977。

【大斎節プログラム】5

▽練馬聖ガブリエル 講演「神様への感謝：献金の務めと意味」・広谷和文司祭(聖公会神学院校長)。29日(日)13時。